

Human Rights

思いやりとやさしさに満ちたふじおか

みんなの意識

毎年開催している人権講演会ですが、本年度はいつも以上の反響がありました。会場で行った人権についてのアンケートは600人中406人の回答を得ました。そこから皆さんの人権への関

心度を読み解きます。インターネットによる人権侵害は、ネット上における誹謗中傷、差別的書き込みなどによる人権侵害がますます深刻になっています。県や市役所など公的機関に相談した人は昨年度より減り、相手に抗議した人が増えました。直接的な対応の増加が認められます。

アンケートを踏まえて

Q1 差別や人権侵害を受けたか
…女性に対する差別とインターネットによる人権侵害の割合が年々高くなっています

Q2 誰かに相談したか
…身近な人に相談する場合と、黙って我慢してしまう人に分かれるようです

調査結果から、偏見や差別などの人権侵害が起きていることが認められます。特にインターネットの普及に合わせ、ネットへの書き込みが大きな問題になっています。簡単に誰でも発信できる便利な道具だからこそ、正しい使い方をしていく必要があります。人権差別を受けた人が私たちの身近にたくさんいます。しかし今行なったアンケートは人権講演会への参加者のもので、最初から人

権に関心があった人たちの声です。私たちは一人一人が人権について考える必要があります。来年度には無作為に抽出した一般市民向けのアンケートを実施します。届いた方はアンケートの回答にご協力ください。皆で意識すれば人権にやさしいすてきなまちに変わっていくのではないのでしょうか。お問い合わせ 生涯学習課(☎226888)

相談窓口

毎月数回、市役所、鬼石総合支所で人権擁護委員による人権相談を行っています。

人権に関することなら何でも相談に来てください。一人で悩まず、専門家に相談してみませんか。

自治交流課 ☎内線2215

人権アンケート

History

多野藤岡地域の人々が支えた高山社

繭の質向上に貢献 小泉信太郎

小泉信太郎とは

小 泉信太郎は、現在の上栗須で生まれました。母は町田菊次郎の妻の姉で、家業は大規模養蚕、蚕種製造を営み、幼少のころより蚕種に触れて育ちました。信太郎は子どもの頃から頭脳明晰でやる気に満ちあふれ、高い理想をもつ情熱家でした。菊次郎の紹介で高山長五郎から養蚕を学び、高山社設立の署名に加わりました。

←晩年の小泉信太郎



この頃は海外へ関心を持ち24歳の頃に渡米しました。8年間の米国滞在中、さまざまな農業を視察。サンディエゴ婦人会に日本の養蚕業を伝えるなど精力的に活動しました。帰国後は高山社分教場を開設。特に中国人留学生を多数指導しました。

富岡製糸所長との信頼関係

明治43(1910)年、原富岡製糸所長、大久保佐一と町田菊次郎は生繭共同販売会社を設立。原富岡製糸所が開催する養蚕講習会は高山社授業員が指導しました。良質な繭を作れたかった大久保は指導員のリーダー格であった信太郎を大変信頼していました。

昭和2(1927)年、組合製糸「群馬社」が設立され大久保所長は社長となりましたが、信頼される信太郎が副社長に就きました。



↑本郷の町田菊次郎 生家敷地内に移設された小泉信太郎頌徳碑

農業振興、食料増産

昭和6年多野郡養蚕組合を設立、組合長になりました。

大正15年58歳の時には県会議員に当選。3期9年間在任しました。信太郎は活動の幅を広げ、蚕糸業だけでなく地域農業振興にも力を入れ、ヘチマ・スイカなどの普及を図りました。これは昭和前期

の戦時経済下に大きな手助けになりました。食糧増産のため鮎川貯水池築造対策、水利権問題解決にも奔走しました。昭和20年78歳で亡くなりました。妻たねは分教場学生の面倒を一手に引き受けるなど信太郎の活躍を支え、民政福祉の仕事にたずさわり女性の地位向上のために努めました。お問い合わせ 文化財保護課(☎5997)